

★学校教育目標	◎学び考えを深める子 ○思いやりの心を持ち行動できる子 ○がんばりぬく子 ○身体をきたえる子	★重点計画の概要 日野市第4次学校教育基本構想の理念を踏まえ、子供たち自らが「すべての“いのち”がよろこびあふれる今と未来をつつていく力」を育てていけることを目指し、人間尊重の精神を基調に、心身ともに健康で、自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応する生きる力を育む教育を推進する。
★目指す学校像（ビジョン）		
【目指す児童・生徒像】	自他を認め、思いやりの心を持って他者と接し、心身ともに健康で、進んで学ぶ意欲とたくましく生きる力を育む児童	
【目指す学校像】	児童も教職員も学び続ける学校	
【目指す教師像】	児童の笑顔と未来のために、教育の専門職としての自覚をもち、自ら学び続け、子供とともに成長する教師	

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価指標・評価基準		学校評議員・学校運営協議会の意見	結果の分析と改善策	
				評価点	取組指標			評価点
みんなが当事者として、自ら歩む道をつくる	主体的・対話的で深い学びの具現化に向けた自分に合った多様な学びの創造	探究的な学びを取り入れた授業を充実させ、思考力・判断力・表現力を育成し、それらを活用・発展させる実践力を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ◆学校図書司書と教員の連携及び学校図書館の情報センター、学習センターとしての機能を活かし、ICTとの両輪で児童の課題解決力・論理的思考力の育成に努める。 ◆ICTを活用しながら児童の学びを主体的に情報発信させる。 ◆教員が、児童自らの課題解決を後押しする指導法を身に付ける。 	2	4 全ての教員が計画通りに実施している。	3	4 児童アンケートで95%以上の児童が肯定的な評価をしている。	図書館を学習センターに位置付けるとともに、ICTの活用が一人一人の学習を支えている。この成果は、授業中の子供たちの姿や学力調査の結果に反映されている。 児童個々の興味関心や特性を活かした学びの場であってほしい。 子供たちの様々な能力を伸ばすために、ICTだけに頼らない多角的な学習方法をこれからも進めてほしい。
					3 90%以上の教員が計画通りに実施している。		3 児童アンケートで90%以上の児童が肯定的な評価をしている。	
2 80%以上の教員が計画通りに実施している。	2 児童アンケートで80%以上の児童が肯定的な評価をしている。							
1 計画通りに実施した教員が80%未満である。	1 児童アンケートで肯定的な評価をしている児童が80%未満である。							
心身ともに健康でたくましく生きる力を育む	体力向上および食育推進の取組を通して、児童がたくましく生きるための知恵や体力を育て、生涯スポーツの基盤をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> ◆体育の授業を充実させ、児童の持久力向上に努める。 ◆体カテストや六小ラン、なわとび週間等の取組を通して、身体を動かす楽しさ心地よさを味わわせ、子供の基礎体力を高める取り組みを行う。 ◆学校医や学校薬剤師、保護者と連携し、学校全体の健康教育の啓発と充実を努める。 ◆児童が心の健康を保てるために、保護者と連携して児童理解を図る。 	3	4 全ての教員が計画通りに実施している。	2	4 児童アンケートで95%以上の児童が肯定的な評価をしている。	教科体育はもちろん、身体を動かす楽しさや心地よさを味わわせ、児童の基礎体力の向上に努めている。 体力調査の結果では、都や全国よりも低いものが多いので、筋力や柔軟性を高める体操を取り入れるなど体カアップを図れるとよい。 負けた経験から立ち直る術を学ばせることがもっとあってよい。小さいころから心のハネを強くする教育が必要。	
				3 90%以上の教員が計画通りに実施している。		3 児童アンケートで90%以上の児童が肯定的な評価をしている。		
2 80%以上の教員が計画通りに実施している。	2 児童アンケートで80%以上の児童が肯定的な評価をしている。							
1 計画通りに実施した教員が90%未満である。	1 児童アンケートで肯定的な評価をしている児童が80%未満である。							
みんなの多様な学びとあわせをつくる	思いやりの心を持ち、豊かな社会性のある児童の育成	自他を認め、思いやりの心をもって他者に接することのできる児童を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ◆児童が自分を発揮し、互いに自己の存在感を認め合える学校・学年・学級経営をする。 ◆学校行事や委員会、係活動、たてわり班活動、集会活動等を通して、あいさつの励行と笑顔あふれる学校の具現化を図る。 ◆校内委員会を核とし、個々の児童の教育的ニーズを考慮して、課題を解決する。 	3	4 全ての教員が計画通りに実施している。	3	4 児童アンケートで95%以上の児童が肯定的な評価をしている。	教員と子供たちの人間関係のあたたかさを感じる。この信頼感をベースに子供たち相互の認め合いや思いやりを育み、学校生活の楽しさを味わうことにつながっている。 応援し合う、褒め合うなど他者への配慮、思いやりを育てる学年間のメッセージを掲示するなど心温まる、豊かになる活動をしている。 児童同士の関係から学んでいくのも大事だが、学校の特別な大人、先生、そして校長先生が身近に感じられるとよい。
					3 90%以上の教員が計画通りに実施している。		3 児童アンケートで90%以上の児童が肯定的な評価をしている。	
2 80%以上の教員が計画通りに実施している。	2 児童アンケートで80%以上の児童が肯定的な評価をしている。							
1 計画通りに実施した教員が90%未満である。	1 児童アンケートで肯定的な評価をしている児童が85%未満である。							
すべての“いのち”を守り、育むための取組の充実	子供の安全・安心を守る組織的なサポート体制を構築し、生活指導の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ◆防災教育や栽培活動等、教育活動全体を通して、自他のいのちを尊重する取組を実施する。 ◆学校いじめ防止基本方針に則り、いじめ対策委員会を中心に、いじめ防止の取組を徹底する。 ◆スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、保護者、外部機関等と連携し、組織的に、いじめ・不登校の未然防止・早期発見・早期解決を図る。 	3	4 全ての教員が計画通りに実施している。	4	4 児童アンケートで95%以上の児童が肯定的な評価をしている。	子供たちに接する教職員の姿に温かさを感じる。それが安心感をもち、子供たち一人一人が居場所を実感する学校になっている。 リソースルームがグループ指導もしてくれるようになってよかった。サポートルームのようなものがあったらいい。 これからも一人一人に寄り添った取組を継続してほしい。	
				3 90%以上の教員が計画通りに実施している。		3 児童アンケートで90%以上の児童が肯定的な評価をしている。		
2 80%以上の教員が計画通りに実施している。	2 児童アンケートで80%以上の児童が肯定的な評価をしている。							
1 計画通りに実施した教員が90%未満である。	1 児童アンケートで肯定的な評価をしている児童が85%未満である。							
社会と未来に開き、みんながつくる	家庭、地域・社会と協働した教育活動の推進	PTA・地域支援本部・社会教育センター・地域人材などを活用し、豊かな体験活動や学校環境整備を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ◆学校運営協議会、保護者会、道徳授業地区公開講座、学校行事の意見交換や情報交換、アンケートを教育活動の改善に活かす。 ◆地域を学びのフィールドにした学習活動の充実を図る。 ◆家庭訪問・個人面談等において保護者と連携し、一人一人を大切に教育活動を推進する。 ◆教育活動への保護者の協力を積極的に活用する。 	3	4 全ての教員が計画通りに実施している。	3	4 保護者アンケートで95%以上の保護者が肯定的な評価をしている。	学校運営委員会や保護者会等の意見や情報の交換を通して、教育活動の充実・改善を図っている。 日野自動車の出前授業はよい取組である。学校周辺には多くの企業があるので、企業と連携、協力したカリキュラム編成の開発が望まれる。 PTA活動への加入は任意となっていて、その都度お手伝いを募集する形になっているが、うまく活動で来ている。 コロナ前までは体験授業がたくさん行われていた。道具はあるので、やってもいいのではないかな。
					3 90%以上の教員が計画通りに実施している。		3 保護者アンケートで90%以上の保護者が肯定的な評価をしている。	
2 80%以上の教員が計画通りに実施している。	2 保護者アンケートで80%以上の保護者が肯定的な評価をしている。							
1 計画通りに実施した教員が90%未満である。	1 保護者アンケートで肯定的な評価をしている保護者が80%未満である。							
持続可能な社会をつくる一人としての自覚と行動力の育成	多くの人や施設・自然に関わり合い、自らの生き方を考えることができる児童を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ◆SDGsの理念を活用し、持続可能な社会をつくる一人としての自覚と行動力を育む取組を実施する。 ◆地域の教育資源の開発を行い学習に活かす。 ◆子供発信の学習・取り組みを具現化する。 	2	4 全ての教員が計画通りに実施している。	2	4 児童アンケートで95%以上の児童が肯定的な評価をしている。	道徳や総合的な学習の時間等で、児童が自ら生き方を考える学習活動を計画的に進めている。 高校と交流したり、子供たちの活動を公の場で発表させたりと積極的に学習に活かしている。 ボランティア参加への促し等があってもいいのではないかな。	
				3 90%以上の教員が計画通りに実施している。		3 児童アンケートで90%以上の児童が肯定的な評価をしている。		
2 80%以上の教員が計画通りに実施している。	2 児童アンケートで80%以上の児童が肯定的な評価をしている。							
1 計画通りに実施した教員が90%未満である。	1 児童アンケートで肯定的な評価をしている児童が85%未満である。							

※評価指標・評価基準は、2の段階を現状としています。